

愛知・名古屋 2026 アジア競技大会 競歩日本代表選手選考要項

1. 編成方針

2026年度の重要な国際競技会と位置づけ、本大会でメダル獲得及び入賞が期待される競技者で選手団を編成する。

2. 開催地

愛知・名古屋

3. 開催期間

2026年9月19日（土）～10月4日（日）

4. 開催種目

- (1) 男子 ハーフマラソン競歩・マラソン競歩
- (2) 女子 ハーフマラソン競歩・マラソン競歩

5. 選考競技会

- (1) 男女 ハーフマラソン競歩
 - ・第109回日本陸上競技選手権大会・ハーフマラソン競歩（2026／神戸）
 - ・第50回全日本競歩能美大会（2026／能美）
- (2) 男女 マラソン競歩
 - ・第62回全日本競歩高島大会（2025／高島）
 - ・第110回日本陸上競技選手権大会・マラソン競歩（2026／能美）

6. エントリー枠

男女各種目最大2名までエントリー可能

ただし、派遣人数枠に限りがあるため、その範囲内の人数とする。

7. 選考基準

(1) 内定条件

第109回日本陸上競技選手権大会・ハーフマラソン競歩（2026／神戸）、および、第110回日本陸上競技選手権大会・マラソン競歩（2026／能美）において優勝した競技者

※優勝者に出場意思がない場合、この項での選考は行わない。

(2) 選考条件

全選考競技会終了時点において、各選考競技会において日本人3位以内の競技者の中から、各選考競技会での記録・順位・レース展開・タイム差・気象条件等を総合的に勘案し

つつ、歩型違反による失格のリスクの程度も併せて勘案し、本大会で活躍が期待されると評価された競技者

8. 選考方法

- (1) 選考基準（1）による選考は、即時内定とし、専務理事が承認することにより決定する。
- (2) 全選考競技会終了後、編成方針及び選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会の議を経て、専務理事の承認をもって決定する。
※選考後の代表選手の入替えについては、強化委員会にて変更案を作成し、専務理事が承認する。

9. 補足

- (1) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数は 大会主催者が定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。
- (2) 代表選手は、派遣団体である公益財団法人日本オリンピック委員会が正式決定する。
- (3) 代表選手は本連盟または大会主催団体が定める義務及びその他必要事項を遵守するものとする。
- (4) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
 - 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
 - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - 3) 前記（3）を遵守しない場合
- (5) 天災、疫病の流行その他の理由による選考競技会の開催中止またはその開催方法等の変更に伴い、選考競技会、選考基準及び選考方法について、専務理事の決定により、変更することができる。ただし、選考基準について基本的な考え方の変更を伴う場合には、理事会の決議を要するものとする。

10. その他

愛知・名古屋 2026 アジア競技大会の Qualifying system and entry standards が発表された段階で、上記の要件が出場条件を満たさない場合、選考基準を変更しなければならないため、その際は改めて理事会により承認を得る。

以上